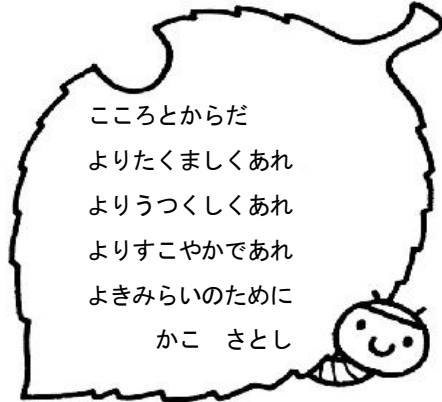


8月から9月にかけて日本に上陸する台風が多く、各地で大きな被害がありました。被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。私達自身も日頃から災害に対しての心がけをしていきたいものです。



こころとからだ  
よりたくましくあれ  
よりうつくしくあれ  
よりすこやかであれ  
よきみらいのために  
かこ さとし

《90歳の絵本作家かこさとしさん》

かこさとしさんは1926年生まれ。少年時代は特攻隊のパイロットを目指していましたが、15歳で視力が衰え断念し、終戦をむかえます。戦後、軍人にあこがれ、戦争に加担しようとした自分を深く後悔し「間違った判断をした自分は昭和20年で死んだんだ。」との思いに至り、東大工学部卒業後、就職してから子ども達に紙芝居のボランティアを始めたことが絵本作家へとつながります。

かこさんの根底には、自分のような間違いをしない「自分で自分の周りのことを判断できる子になってほしい」との思いが強くあります。

子どもの可能性を信じ、子どもの力を育て、応援したい。そのために20年先に読んでも通用する本を作りたいと、90歳の現在も創作を続けています。

### 『かこさんから、子育てについてのアドバイス』

本を読み聞かせる時は、子どもは両側の膝に乗ったり、足の間にもぐりこんだり、肩に乗ったりといろいろでしょうが、読んでいるお母さん（お父さん）と同じ側に子どもをおいて、子どもと読み手が同じ側からページを送っていくようにしてほしい。普段ガミガミ怒るお母さんも、本を読むときは優しい声で。それが子どもにとっての最高のもの。

ときに子どもの気持ちが分からなくなることがあっても、自分の考えを押し付けてはいけない。普段と違う行動なり、言い方なり「何故だろう」と思うときがあったら何か原因があるはずなので、日頃から親は気をつけて子どもを見ていこう。子どもを信じてよく見よう。

